



サロンあべの

一九九一年九月三日第三種郵便物認可（毎日発行）

～タンデム自転車の普及を目指して～

（サロン・あべの）4月の出会い

平成23年4月16日（土）午後1時～4時、育徳コミュニケーションセンター2階研修室において、柏木佳子さん（視覚障害・府職員・電話交換手）に「タンデム自転車」を楽しまれているお話を伺いました。

タンデム自転車

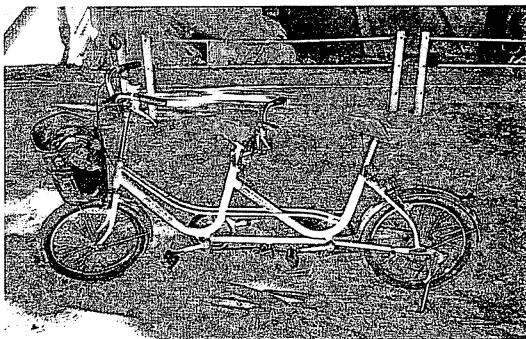
タンデム自転車は19世紀頃よりヨーロッパにあり、1台の自転車に2人、3人と複数で一列に乗って走行する。車輪は2つであるが、ハンドルとサドルは人数分が付いている。車輪を支えるスポークは重量を考慮して本

数が多く、自転車総重量は一般の自転車の1.5倍位の重さになっ

ているが、複人数で走るのので個人的には、軽やかに走れる。先頭のハンドルを持つ人がパイロットと言われ、走行支持をしなから走る。海外や日本でも競技大会が開催されている。が、一般の自転車のように公道を走れるのは、日本では一部（兵庫や広島）の地域だけになっている。

おいたち

柏木佳子さんは未熟児網膜症で視力を失ったが、ご両親が兄弟と同じように育てられたので視覚障害を特別なこととして捉



2人乗りのタンデム自転車

えることはなかった。地域の小学校、中学校、高校、大学と進学。単独行動が出来ることを考えていたので、中学生になって関西盲導犬協会で盲導犬の体験をしてからは、盲導犬が欲しいと足しげく協会に通った。そのかいあって高校合格後に盲導犬と共に訓練を受けた。その間、家族の送迎を受けていたので、寄り道ができなかったが、盲導犬を手にした時から下校後は、近鉄八尾から難波に出て私服に

着替えて遊びに出かけたり、カラオケに行ったりした。犬を連れ変な姉ちゃんが来たと思われていたかもしれない。盲導犬の訓練は体力的にきつく体力が無いことを痛感したので、高校では、体力をつけるために水泳クラブに入部。

水泳部ではエンドレスで練習をした。そうまでするならとその年の新人戦にエントリーされた。その結果、9人中8番目でゴール。場内は拍手喝さいで、3日後に八尾高校から「次の大会で又一緒にがんばりましょう」と手紙をもらった。統合教育を受けるということは、こういうことかと思っただ。他の大会では、障害別に分かれていて、競争者がいないので淋しかった。盲学校では、一般の生徒と競技をしないし、大学では水泳部がなかったので施設ボランティアに参加するようになった。

タンDEM自転車との出会い

青空財団でタンDEM自転車を知り、気に入ってさっそく購入した。大阪では一般公道が走れないので、父親が八尾まで車で運んでサイクリングを楽しんだ。長い距

離も走れるし、風の匂いも違う感触。道もアスファルトもあれば砂利道もあり、それぞれの響きがすぐに伝わってくる楽しさを感じた。

トライアスロンとの出会い

近所のおじさんがタンDEM自転車に乗っていることを知って、水泳も出来るのだからトライアスロンに参加したらと誘われた。今は、タンDEM自転車と伴走者として、トライアスロンも楽しんでいるが、誰もが気軽に楽しめる「タンDEM自転車」の普及に努めている。



柏木佳子さんのお話は、明快で誰もがタンDEM自転車の魅力に魅かれました。多くのパイロットの養成が待たれるお話でもあ

りましたが、大阪でも公道を走れる日が一日でも早く実現してほしいと思ってお話でした。
(16名・富田慶子)

お知らせ

<サロン・あべの> 6月の出会い

○内 容：赤い鼻をつけたクリニクラウンが小児病棟にやって来る

クリニクラウンとして今、思うことと

○お客さま：伊佐常和さん(特定非営利活動日本クリニクラウン協会・所属)

○日 時：6月18日(土) 午後1時～4時

○場 所：育徳コミュニティセンター1、2階・研修室

〒大阪府阿倍野区阪南町5-1-15-28、TEL 06-6621-1901

○会 費：なし

○問合せ先：TEL 06-6691-1028

(富田慶子)

美智子のこんな話

岸田美智子

「わたしたちも地域の住民です」DVD完成!

以前、このコーナーで掲載させてもらいましたが、アクションプランの高齢・障がい者部会で小中学生向け大阪市地域福祉学習リーフレットとDVDがやっと完成しました。

このDVDとリーフレットはそれぞれ障がい者編、高齢者編、地域福祉編の3つが1組になっています。タイトルは「わたしたちも地域の住民です。」となっていて20分くらいのDVDです。内容については、障がい者編では3人の障がい者が登場します。3人とも重度障がい者で、車いすでの生活です。1人は、南大阪地域をよくする会などを積極的に地域で活動されていて、

いろいろな交通問題にも取り組んでおられる方です。もう1人は、ヘルパー派遣事業所（へるぷふる）の社長を務められている方です。3人目は、私です。3人それぞれの自分の生活を紹介したり、日中の仕事の場面や活動場面が紹介されています。そして、地域の人たちにどんなかわり方をしてもらいたいかを、メッセージとして発言しています。子供たちにもわかりやすい様に、このDVDの内容についてリーフレットの方で質問しています。たとえば、『岸田さんはお休みの日にはどんなことをして楽しんでますか?』『どのようなことが困ると思っていましたか?』などと質問しています。他にも『障がいのある人と話したことがある人はいますか?』『それはどんな障がいのある人でしたか?』という質問や『わたしたちのすむ町は「障がいのある人」にとって使いやすい設備があったり、工夫がされているでしょうか?お店や駅、道路やいろんな建物について調べてみましょう。』『わたしたちの住む町には障がいのある人が働く場所や活動している場所があるでしょうか?調べてみましょう。』な

どという質問がリーフレットには載っていないので、このDVDを見て終わってしまうのではなく、子どもたちが住んでいる地域のことを意識してもらえような授業につなげていってもらえるようになっていきます。このDVDとリーフレットを紹介するための、上映会を各地で展開していくことになりました。まいどもこの上映会の活動に今後参加していきます。

もし、このDVDやリーフレットを見たいと思われる方は、どんどんご連絡ください。連絡先は、住吉区社会福祉協議会（地域活動担当）

●TEL: 06-6607-8181

●FAX: 06-6692-8813

サロン・あべの毎月の感謝

カンバ、切手、お菓子、サロングッズのお買い上げ等ありがとうございます。

カスターネット、稲垣恵雄、上田宏子、

風智恵子、東百合子、平岡太、

田辺サカエ、その他の方、（敬称略）

がんばる姿に感動するか

アルコール依存症の人たちのグループが文集を出しており、そこに寄稿してほしいと依頼された。「内容は何でもけっこうです」と依頼文にはあるものの、何を書いていいのかわからなかった。同封されていた昨年度の文集を開いて読んでみた。特に私と似たような立場で（つまり当事者ではない立場で）寄稿していた人の文章が印象に残った。

そこには「みなさんのがんばっておられる姿に感動しました」とある。なぜ、この人は「がんばっている姿」に感動したのだろうか、まず考えてしまった。オリンピックとかスポーツ競技のテレビ中継で「感動をありがとう」という文字をよく見かける。選手が「がんばっている姿」に感動するからだそうだが、同じような理由で、この人は感動したのだろうか。

私は正直いって、スポーツ競技の中継で感動したという記憶はほとんどない。あえて言えば、十年ほど前に、怪我をしながら優勝決定戦で蔵丸を投げ飛ばした貴乃花の相撲ぐらいだろうか。

スポーツに関心がないだけだろうと言われてしまえば、そうかもしれないが、私を感じるのは、むしろ羨（うらやま）しさである。これだけ一つのことに夢中になっていられるのだから、素晴らしい人生ではないか。それだけであって感動というのとは少し違う。

スポーツと言えば、障害者のかたが競技をするパラリンピックもそうである。ここでも「感動」が強調されるが、障害との関連でいつそう「感動」が強調されるような印象がある。しかし、そういう「余分な感動」は競技者にとつては、あまり嬉しいものでもないだろうし、障害への偏見の裏返しかもしれない。「余分な感動」は、かえって競技者に失礼ではないかも考えてしまう。

さて、最初のアルコール依存症の人たちの話に戻れば、私は依存症者たちの「がんばっている姿」に、そんなに感動した記憶がないのである。「依存症のために多くのことを失いながら

も懸命に生きようとされている姿に感動した」というのは、少なくとも私には経験がないように思う。

たとえば、溺れようとしている人がいて必死に岸にまでたどり着こうと泳いでいるとしよう。まさに、それは「がんばっている姿」であるが、これに「感動した」という人はいないだろう。無事に岸まで泳ぎつくように手助けするか、できなければ祈るだけである。そして泳ぎ着いたなら、ホッと安心するものの、やはり「感動」はない。ようやく陸（おか）に上がり、疲れて休む姿に「感動しました」と言われたら、言われた本人はあまり良い気はしないだろう。何も好き好んで溺れたわけではなかったからである。

アルコール依存症の人たちも同じであって「酒に溺れた」わけである。そこから立ち直ろうとする姿は、溺れている人が必死に手足を動かしている様子と重なり、私には「感動モノ」とは到底思えないし、そんなことも言えないのである。

ならば、私自身は、依存症の人たちの集會に出た何を感じ、何を思ったのか、感想を書けと言われると困ってしまう。それは、生きていくことの難しさと切なさ、私たちが頼りにしてい

る人と人とのつながりのありがたさと得難（えがた）さ、人間の隠された強さと弱さというところだろうか。何人も人の生きざまが示されて雑多な思いが私を占める。なかなか整理するのが難しいのである。
（知）



晴れのち晴れ

稲垣恵雄

■東日本大震災

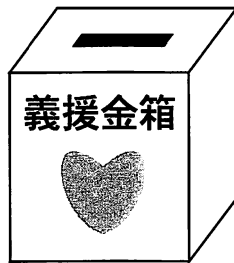
去る3月11日、東北地方を中心に巨大地震（東日本大地震）が発生した。マグニチュードが9.0で観測史上最大級だという。それだけに死者は最終的に2万人を越え、ほとんどの建物も破壊されている。ここに被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

このように地震の被害に遭われた人のお役に立てようと募金活動を始めたり、ボランティアをする人が全国的に広がっている。国内のみでなく、海外からの援助物資も続々と届いている。そして多数の国から「我が国ならあれだけの大きい地震があれば、必ず略奪が起きるが、日本人

は忍耐強くてモラルをよく守っている」と称賛していた。このことに関して新聞のコラムに「今回の地震が最大級なら、日本人のしなやかな強さも最大級である」と書いてあったが、全くその通りだと思った。

この「東日本大震災」が発生した同時刻に大阪でもかなり揺れた。幸い被害はないようだったが、気分が悪くなったり、目まいがしたと思ったという人が多かった。私たち夫婦はどうもなかったが、知人のMさんから、「地震でだいぶ揺れたけど、大丈夫でしたか」と電話をかけてくれたことが、本当にうれしかった。

ともかく被害に遭われた方は1日も早く立ち直っていただきたい。何もできない私にはそう願うことしかない。



中村かずみ

家族でアメリカ!

ケンタッキー州滞在記

19

「ハリー・ポッター」をご存じですか？

作者は英国の方ですが、世界中で大ブームになり映画化、魔法使いの世界を描いて日本でもアメリカでも子供から大人まで大人気なシリーズ小説です。我が家では次男コウジが大ファン。ケンタッキー滞在に際しても、分厚い本を何冊も、冬服や長靴と一緒に船便に入れてやりました。

その船便が届くまでの一ヶ月半、コウジは首を長くして到着を待っていたそうで、荷を開けると早速、ハリー・ポッターを一冊学校に持っていきまし

た。何しろ9月から地元の学校に通わされても、

コウジはなかなか馴染めなかったのだとか。その点女の子は簡単で、日本の可愛い文房具が大人気。

「プリーティー！」

「サンキュー！」

で3年生のサキは初日からお友達が出来ましたが、5年生男子はそうもいきません。外遊びも馴染みのないアメフトで、ルールが分かるまでじつと見ていたそうです。

当時、まずは障害のある長男カズキが1人通う中学校と交渉するのが最優先で、小学校に行く2人への気配りは最小限だったかも。

2週間経って、先生からサキは馴染んで心配無いけれど、コウジは学校で居眠りをしていると言われてびっくりでした！日本ではむしろ真面目ですぐ友達が出来て心配ないのがコウジで、授業中に遊んでいるのがサキだったのに（※現在にはちゃんと聞いていますよ！）

でも、暇だった休み時間にハリーポッターを読み始めると、男の子たちが寄ってきて、カバの英字に「It's Harry Potter!」（ハリーポッターだ！）と話題になったのだとか。そろそろ時期もあつたのでしょうが、流れて和英英和辞典にも皆が興味を持って、汚い単語を調べて笑っ



本屋で買った、ハリー・ポッターのカエルチョコ。作中でははねて逃げます！



最終刊の英語版(左)と和訳版(右)、違いますね

たりと、コウジには本が歩み寄るきつかけにな

ったようでした。(地元の本屋で、日本旅行者用の辞書を買いました。日本語もローマ字表記でお友達も読めて楽しい!)その頃から「フツ

トボールと一緒にしたよ!」など、コウジからもお友達の話が増えてひと安心でした。

ところで、魔法学校に通うことになった主人公ハリー君の生活。なんだかアメリカの学校と似ています。

例えば遠足の許可。5年生はネイティブアメリカンを訪ねる日があり承諾書が必要でした。宿泊もしない遠足に、保護者署名とか!

(ハリーは、おじさんが許可をくれずに遠足に行かれません)

例えば昼食。魔法学校は全寮制で、毎食大広間に集まって食べています。日本で給食を教室で食べていたのと比べれば、アメリカの学校のカフェテリアはそっくりで、頼めば朝食も出来ます。しかも給食着は着ずに(笑)

学校でダンスパーティー!小学校でも5年生は男女で組むダンスの時間があり、中学では夕方にパーティーがありました。そういうイベントが参加した障害者スポーツ大会でもデイナー後はダンスパーティー、参加者が皆踊り慣れていまし

たよ!

そしてもちろん、夏休み明けに新学期が始まり、ハロウィンやクリスマスを学校をあげて祝うのです。

日本の子供たちは、自分の学校と「違う」と思って読みますが、欧米の子は案外魔法使いも「同じ」だと親しみを持って読むものなのかもしれません。

最後にもう一つ、当時まだ日本では訳書が発売されていなかったハリーポッター最終刊を、私はアメリカで買って読みました。何とホームセンターで半額で!



その本屋さん。美味しいランチを食べながら、ゆっくり読んで本を選べます

日本では新品の本は値引きされませんし、シーツやカーテンと並べて 売るのもありえなくて驚きました!

〈映画紹介コーナー〉

「ハリー・ポッターと賢者の石」(2001年125分)魔法学校の入学通知を皮切りに、驚きの連続な第1作がやはり一番好きです。

クリスマスには広間いっぱいのお菓子!!美味しそう(アメリカの激甘菓子にめげたコウジは、その場面が嫌いになっちゃったそうで可哀想笑)



「ハリーポッターと賢者の石」



6月はどこのサロンの、
どのテーマが
お気に入りですか。
いい出会いしませんか。

■ 「サロン淀川」6月の出会い

日時：6月19日(日)午後1時30分～4時
内容：映画「春との旅」
～老人と孫の2人旅。人は人に寄り添って生きてゆく。良いときも、悪いときも…～
場所：「やすらぎ」大阪市淀川区三国本町2-14-3
会費：なし
問合せ先：淀川区社会福祉協議会(ボランティア・ビューロー)
TEL06-6394-2900

■ 「サロン・にしよど」6月の出会い

日時：6月25日(土)14時～15時30分
集合：13時30分、JR「長岡京」改札前
内容：ザ・プレミアムモルツ講座(工場見学&試飲)
場所：サントリー京都ビール工場
参加費：見学会は無料、交通費等は各自負担
★この電車が便利!：

○JR東海道本線「塚本」12時48分発—普通京
都行「長岡京」13時30分着

○JR東海道本線「大阪」12時55分発—快速米
原行「長岡京」13時23分着

問合せと申込み先：TEL090-9864-9678(中本)

■ サロン「アイ」6月の出会い

日時：6月11日(土)午後1時30分～4時
内容：市会議員の仕事
ゲスト：武直樹さん(大阪市市会議員)
場所：生野区在宅サービスセンター「おかちやま」2
階ボランティアルーム
大阪市生野区勝山北3-13-20

会費：なし

問合せ先：生野区社協(ボランティア・ビューロー)
TEL06-6712-3101
○サロン「アイ」便りの音訳テープあります。
ご希望の方は西浦まで。
TEL06-6757-8574(西浦)

■ 「サロンにし」6月の出会い

日時：6月11日(土)午後2時～4時
内容：昔話や参加型の紙芝居を楽しもう!!
ゲスト：紙芝居一座「せんの風」
場所：西区在宅サービスセンター「ながほり」
[大阪市西区新町4-5-14]
会費：無料
問合せ先：宮脇淳TEL090-3949-6973

■ 《てくてくすみよし》6月の出会い

日時：6月11日(土)午前11時～
内容：お好み焼き
場所：あびさん[大阪市住吉区我孫子3-10-10]
参加費：1000円
申込みと問合せ先：山本篤江TEL06-6692-8411
携帯TEL090-5168-5977

■ 「サロン・つるみ」6月の出会い

日時：6月5日(日)午後1時30分～4時
内容：「小さな朗読の会」
ゲスト：鶴見区視覚障害者朗読ボランティアグループ
「ひかり」のみなさま
場所：鶴見区民センター3階 [大阪市鶴見区横堤5-3-15]
参加費：なし
問合せ先：鶴見区社協(ボランティア・ビューロー)
TEL06-6913-7070

■ 「サロンいたみ」6月の出会い

日時：6月11日(土)午後2時～
内容：みんなと一緒に「シャルビダンス」
場所：伸幸苑伊丹市寺本6丁目150
問合せ先：安藤れい子TEL072-784-1718

<サロン・あべの>Vol.299 発行：平成23年(2011年)5月21日 定価¥100
編集人：<サロン・あべの>運営委員会 表題：中西利香・筆
事務局：〒545-0021大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>
TEL・FAX06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの00950-9-26941
印刷：セルフ社〒546-0044東住吉区北田辺町4-23-2ミスターDビル2F06-6719-8212
ホームページ：http://pweb.sophis.ac.jp/oka/salon/「サロン・あべの」でも検索できます



サロンあべの

一九九一年九月三日第三種郵便物認可（毎日発行）

～タンデム自転車の普及を目指して～

（サロン・あべの）4月の出会い

平成23年4月16日（土）午後

1時～4時、育徳コミュニティ

センター2階研修室において、

柏木佳子さん（視覚障害・府職員・電話交換手）に「タンデム

自転車」を楽しまれているお話を伺いました。

を伺いました。

タンデム自転車

タンデム自転車は19世紀頃よりヨーロッパにあり、1台の自転車に2人、3人と複数で一列

に乗って走行する。車輪は2つ

であるが、ハンドルとサドルは

人数分が付いている。車輪を支

えるスポークは重量を考慮して本

数を多く、自転車総重量は一般

の自転車の1.5倍位の重さになっ

ているが、複人数で走るのでは個

人的には、軽やかに走れる。先

頭のハンドルを持つ人がパイロ

ットと言われ、走行支持をしな

がら走る。海外や日本でも競技

大会が開催されている。が、一

般の自転車のように公道を走れ

るのは、日本では一部（兵庫や

広島）の地域だけになっている。

おいたち

柏木佳子さんは未熟児網膜症

で視力を失ったが、ご両親が兄

弟と同じように育てられたので

視覚障害を特別なこととして捉

えることはなかった。地域の小



2人乗りのタンデム自転車

学校、中学校、高校、大学と進学。単独行動が出来ることを考えていたので、中学生になって関西盲導犬協会で盲導犬の体験をしてからは、盲導犬が欲しくて足しげく協会に通った。そのかいあって高校合格後に盲導犬と共に訓練を受けた。その間、家族の送迎を受けていたので、寄り道ができなかったが、盲導犬を手にした時から下校後は、近鉄八尾から難波に出て私服に

着替えて遊びに出かけたり、カラオケに行ったりした。犬を連れ変な姉ちゃんが来たと思われていたかもしれない。盲導犬の訓練は体力的にきつく体力が無いことを痛感したので、高校では、体力をつけるために水泳クラブに入部。

水泳部ではエンドレスで練習をした。そうまでするならとその年の新人戦にエントリーされた。その結果、9人中8番目でゴール。場内は拍手喝さいで、3日後に八尾高校から「次の大会で又一緒にがんばりましょう」と手紙をもらった。統合教育を受けるということは、こういうことかと思っただ。他の大会では、障害別に分かれていて、競争者がいないので淋しかった。盲学校では、一般の生徒と競技をしないし、大学では水泳部がなかったので施設ボランティアに参加するようになった。

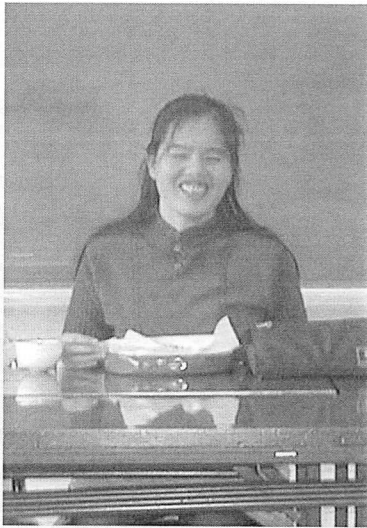
タンDEM自転車との出会い

青空財団でタンDEM自転車のことを知り、気に入ってさっそく購入した。大阪では一般公道が走れないので、父親が八尾まで車で運んでサイクリングを楽しんだ。長い距

離も走れるし、風の匂いも違う感触。道もアスファルトもあれば砂利道もあり、それぞれの響きがすぐに伝わってくる楽しさを感じた。

トライアスロンとの出会い

近所のおじさんがタンDEM自転車に乗っていることを知って、水泳も出来るのだからトライアスロンに参加したらと誘われた。今は、タンDEM自転車と伴走者として、トライアスロンも楽しんでいるが、誰もが気軽に楽しめる「タンDEM自転車」の普及に努めている。



柏木佳子さんのお話は、明快で誰もがタンDEM自転車の魅力に魅かれました。多くのパイロットの養成が待たれるお話でもあ

りましたが、大阪でも公道を走れる日が一日でも早く実現してほしいと思ってお話でした。

(16名・富田慶子)

お知らせ

〈サロン・あべの〉6月の出会い

○内 容：「赤い鼻をつけたクリニクラウンが

小児病棟にやって来る」

クリニクラウンとして今、思うことと

○お客さま：伊佐常和さん(特定非営利活動日

本クリニクラウン協会・所属)

○日 時：6月18日(土)午後1時〜4時

○場 所：育徳コミュニティセンター1、2

階・研修室

〔大阪市阿倍野区阪南町5-1-15〕

28、TEL 06-6621-1901

○会 費：なし、

○問合せ先：TEL 06-6691-1028

(富田慶子)

美智子のこんな話

岸田美智子

「わたしたちも地域の住民です」DVD完成!

以前、このコーナーで掲載させてもらいましたが、アクションプランの高齢・障がい者部会で小中学生向け大阪市地域福祉学習リーフレットとDVDがやっと完成しました。

このDVDとリーフレットはそれぞれ障がい者編、高齢者編、地域福祉編の3つが1組になっています。タイトルは「わたしたちも地域の住民です。」となっていて20分くらいのDVDです。内容については、障がい者編では3人の障がい者が登場します。3人とも重度障がい者で、車いすでの生活です。1人は、南大阪地域をよくする会などを積極的に地域で活動されていて、

いろいろな交通問題にも取り組んでおられる方です。もう1人は、ヘルパー派遣事業所（へるぷふる）の社長を務められている方です。3人目は、私です。3人それぞれの自分の生活を紹介したり、日中の仕事の場面や活動場面が紹介されています。そして、地域の人たちにどんなかわり方をしてもらいたいかを、メッセージとして発言しています。子供たちにもわかりやすい様に、このDVDの内容についてリーフレットの方で質問しています。たとえば、『岸田さんはお休みの日にはどんなことをして楽しんでますか?』『どのようなことが困ると思っていましたか?』などと質問しています。他にも『障がいのある人と話したことがある人はいますか?』『それはどんな障がいのある人でしたか?』という質問や『わたしたちのすむ町は「障がいのある人」にとって使いやすい設備があったり、工夫がされているでしょうか?お店や駅、道路やいろんな建物について調べてみましょう。』『わたしたちの住む町には障がいのある人が働く場所や活動している場所があるでしょうか?調べてみましょう。』な

どという質問がリーフレットには載っていて、このDVDを見て終わってしまうのではなく、子どもたちが住んでいる地域のことを意識してもらえようかな授業につながっていったらいいなと思っています。このDVDとリーフレットを紹介するための、上映会を各地で展開していくことになりました。まいどもこの上映会の活動に今後参加していきます。

もし、このDVDやリーフレットを見たいと思われる方は、どんどんご連絡ください。連絡先は、住吉区社会福祉協議会（地域活動担当）

●TEL: 06-66607-8181

●FAX: 06-6692-8813

サロン・あべの毎月の感謝

カンパ、切手、お菓子、サロングッズのお買い上げ等ありがとうございます。

カスターネット、稲垣恵雄、上田宏子、風智恵子、東百合子、平岡太、

田辺サカエ、その他の方、（敬称略）

がんばる姿に感動するか

アルコール依存症の人たちのグループが文集を出しており、そこに寄稿してほしいと依頼された。「内容は何でもけっこうです」と依頼文にはあるものの、何を書いていいのかわからなかった。同封されていた昨年度の文集を開いて読んでみた。特に私と似たような立場で（つまり当事者ではない立場で）寄稿していた人の文章が印象に残った。

そこには「みなさんのがんばっておられる姿に感動しました」とある。なぜ、この人は「がんばっている姿」に感動したのだろうか、まず考えてしまった。オリンピックとかスポーツ競技のテレビ中継で「感動をありがとう」という文字をよく見かける。選手が「がんばっている姿」に感動するからだそうだが、同じような理由で、この人は感動したのだろうか。

私は正直いって、スポーツ競技の中継で感動したという記憶はほとんどない。あえて言えば、十年ほど前に、怪我をしながら優勝決定戦で武蔵丸を投げ飛ばした貴乃花の相撲ぐらいだろうか。

スポーツに関心がないだけだろうと言われてしまえば、そうかもしれないが、私が感じるのは、むしろ羨（うらやま）しさである。これだけ一つのことに夢中になっていられるのだから、素晴らしい人生ではないか。それだけであって感動というのとは少し違う。

スポーツと言えば、障害者のかたが競技をするパラリンピックもそうである。ここでも「感動」が強調されるが、障害との関連でいつそう「感動」が強調されるような印象がある。しかし、そういう「余分な感動」は競技者にとって、あまり嬉しいものでもないだろうし、障害への偏見の裏返しかもしれない。「余分な感動」は、かえって競技者に失礼ではないかと考えてしまう。

さて、最初のアルコール依存症の人たちの話に戻れば、私は依存症者たちの「がんばっている姿」に、そんなに感動した記憶がないのである。「依存症のために多くのことを失いながら

も懸命に生きようとされている姿に感動した」というのは、少なくとも私には経験がないように思う。

たとえば、溺れようとしている人がいて必死に岸にまでたどり着こうと泳いでいるとしよう。まさに、それは「がんばっている姿」であるが、これに「感動した」という人はいないだろう。無事に岸まで泳ぎつくように手助けするか、できなければ祈るだけである。そして泳ぎ着いたら、ホッと安心するものの、やはり「感動」はない。ようやく陸（おか）に上がり、疲れて休む姿に「感動しました」と言われたら、言われた本人はあまり良い気はしないだろう。何も好き好んで溺れたわけではなかったからである。

アルコール依存症の人たちも同じであって「酒に溺れた」わけである。そこから立ち直ろうとする姿は、溺れている人が必死に手足を動かしている様子と重なり、私には「感動モノ」とは到底思えないし、そんなことも言えないのである。

ならば、私自身は、依存症の人たちの集會に出て何を感じ、何を思ったのか、感想を書けと言われると困ってしまう。それは、生きていくことの難しさと切なさ、私たちが頼りにしてい



る人と人とのつながりのありがたさと得難（えがた）さ、人間の隠された強さと弱さというところだろうか。何人も人の生きざまが示されて雑多な思いが私を占める。なかなか整理するのが難しいのである。
(知)

晴れのち晴れ

稲垣恵雄

■東日本大震災

去る3月11日、東北地方を中心に巨大地震（東日本大地震）が発生した。マグニチュードが9.0で観測史上最大級だという。それだけに死者は最終的に2万人を越え、ほとんどの建物も破壊されている。ここに被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

このように地震の被害に遭われた人のお役に立てようと募金活動を始めたり、ボランティアをする人が全国的に広がっている。国内のみでなく、海外からの援助物資も続々と届いている。そして多数の国から「我が国ならあれだけの大きい地震があれば、必ず略奪が起きるが、日本人

は忍耐強くてモラルをよく守っている」と称賛していた。このことに関して新聞のコラムに「今回の地震が最大級なら、日本人のしなやかな強さも最大級である」と書いてあったが、全くその通りだと思った。

この「東日本大震災」が発生した同時刻に大阪でもかなり揺れた。幸い被害はないようだったが、気分が悪くなったり、目まいがしたと思ったという人が多かった。私たち夫婦はどうもなかったが、知人のMさんから、「地震でだいぶ揺れたけど、大丈夫でしたか」と電話をかけてくれたことが、本当にうれしかった。

ともかく被害に遭われた方は1日も早く立ち直っていただきたい。何もできない私にはそう願うことしかない。



中村かずみ

家族でアメリカ!

ケンタッキー州滞在記

19

「ハリー・ポッター」をご存じですか?

作者は英国の方ですが、世界中で大ブームになり映画化、魔法使いの世界を描いて日本でもアメリカでも子供から大人まで大人気なシリーズ小説です。我が家では次男コウジが大ファン。ケンタッキー滞在に際しても、分厚い本を何冊も、冬服や長靴と一緒に船便に入れてやりました。

その船便が届くまでの一ヶ月半、コウジは首を長くして到着を待っていたそうで、荷を開けると早速、ハリー・ポッターを一冊学校に持っていきましました。

コウジはなかなか馴染めなかったのだとか。その点女の子は簡単で、日本の可愛い文房具が大人気。

「プリーティー!」

「サンキュー!」

で3年生のサキは初日からお友達が出来ましたが、5年生男子はそうもいきません。外遊びも馴染みのないアメフトで、ルールが分かるまでじつと見ていたそうです。

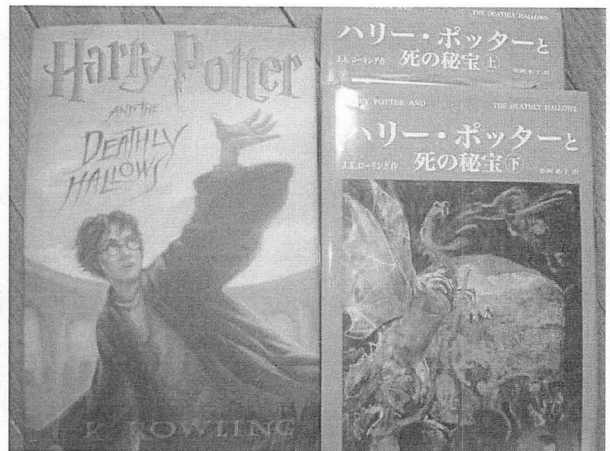
当時、まずは障害のある長男カズキが1人通う中学校と交渉するのが最優先で、小学校に行く2人への気配りは最小限だったかも。

2週間経って、先生からサキは馴染んで心配無いけれど、コウジは学校で居眠りをしていると言われてびっくりでした!日本ではむしろ真面目ですぐ友達が出来て心配ないのがコウジで、授業中に遊んでいるのがサキだったのに(※現在にはちゃんと聞いていますよ!)

でも、暇だった休み時間にハリーポッターを読み始めると、男の子たちが寄ってきて、カバの英字に、「It's Harry Potter! (ハリーポッターだ!)」と話題になったのだとか。そろそろ時期もあったのでしょうが、流れて和英英辞典にも皆が興味を持って、汚い単語を調べて笑っ



本屋で買った、ハリー・ポッターのカエルチョコ。作中でははねて逃げます!



最終刊の英語版(左)と和訳版(右)、違いますね

たりと、コウジには本が歩み寄るきつかけになつたようでした。(地元の本屋で、日本旅行者用の辞書を買いました。日本語もローマ字表記でお友達も読めて楽しい!)その頃から「フットボールを一緒にしたよ!」など、コウジからもお友達の話が増えてひと安心でした。

ところで、魔法学校に通うことになつた主人公ハリー君の生活。なんだかアメリカの学校と似ています。

例えば遠足の許可。5年生はネイティブアメリカンを訪ねる日があり承諾書が必要でした。宿泊もしない遠足に、保護者署名とか!

(ハリーは、おじさんが許可をくれずに遠足に行かれません)

例えば昼食。魔法学校は全寮制で、毎食大広間に集まって食べています。日本で給食を教室で食べていたのと比べれば、アメリカの学校のカフェテリアはそっくりで、頼めば朝食も出れます。しかも給食着は着ずに(笑)

学校でダンスパーティー!小学校でも5年生は男女で組むダンスの時間があり、中学では夕方にパーティーがありました。そういえばカズキが参加した障害者スポーツ大会でもディナー後はダンスパーティー、参加者が皆踊り慣れていまし

たよ!

そしてもちろん、夏休み明けに新学期が始まり、ハロウィンやクリスマスを学校をあげて祝うのです。

日本の子供たちは、自分の学校と「違う」と思つて読みますが、欧米の子は案外魔法使いも「同じ」だと親しみを持つて読むものなのかもしれません。

最後にもう一つ、当時まだ日本では訳書が発売されていなかったハリーポッター最終刊を、私はアメリカで買って読みました。何とホームセンターで半額で!



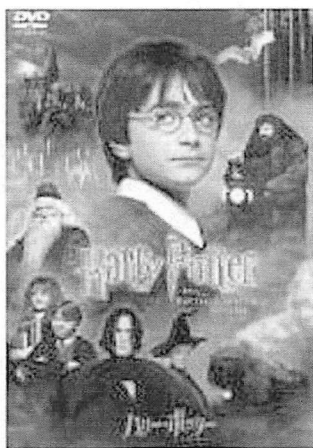
その本屋さん。美味しいランチを食べながら、ゆっくり読んで本を選べます

日本では新品の本は値引きされませんし、シートやカーテンと並べて 売るのもありえなくて驚きました!

〈映画紹介コーナー〉

「ハリー・ポッターと賢者の石」(2001年125分)魔法学校の入学通知を皮切りに、驚きの連続な第1作がやはり一番好きです。

クリスマスには広間いっぱいのお菓子!!美味しそう(アメリカの激甘菓子にめげたコウジは、その場面が嫌いになっちゃったそうで可哀想笑)



「ハリーポッターと賢者の石」



6月はどこのサロンの、
どのテーマが
お気に入りですか。
いい出会いしませんか。

■ 「サロン淀川」6月の出会い

日時：6月19日(日)午後1時30分～4時
内容：映画「春との旅」
～老人と孫の2人旅。人は人に寄り添って生きてゆく。良いときも、悪いときも…～
場所：「やすらぎ」大阪市淀川区三国本町2-14-3
会費：なし
問合せ先：淀川区社会福祉協議会(ボランティア・ビューロー)
TEL06-6394-2900

■ 「サロン・にしよど」6月の出会い

日時：6月25日(土)14時～15時30分
集合：13時30分、JR「長岡京」改札前
内容：ザ・プレミアムモルツ講座(工場見学&試飲)
場所：サントリー京都ビール工場
参加費：見学会は無料、交通費等は各自負担
★この電車が便利！：
○JR東海道本線「塚本」12時48分発—普通京
都行「長岡京」13時30分着
○JR東海道本線「大阪」12時55分発—快速米
原行「長岡京」13時23分着
問合せと申込み先：TEL090-9864-9678(中本)

■ サロン「アイ」6月の出会い

日時：6月11日(土)午後1時30分～4時
内容：市会議員の仕事
ゲスト：武直樹さん(大阪市市会議員)
場所：生野区在宅サービスセンター「おかちやま」2
階ボランティアルーム
大阪市生野区勝山北3-13-20

会費：なし

問合せ先：生野区社協(ボランティア・ビューロー)
TEL06-6712-3101
○サロン「アイ」便りの音訳テープあります。
ご希望の方は西浦まで。
TEL06-6757-8574(西浦)

■ 「サロンにし」6月の出会い

日時：6月11日(土)午後2時～4時
内容：昔話や参加型の紙芝居を楽しもう！！
ゲスト：紙芝居一座「せんの風」
場所：西区在宅サービスセンター「ながほり」
[大阪市西区新町4-5-14]
会費：無料
問合せ先：宮脇淳TEL090-3949-6973

■ 《てくてくすみよし》6月の出会い

日時：6月11日(土)午前11時～
内容：お好み焼き
場所：あびさん[大阪市住吉区我孫子3-10-10]
参加費：1000円
申込みと問合せ先：山本篤江TEL06-6692-8411
携帯TEL090-5168-5977

■ 「サロン・つるみ」6月の出会い

日時：6月5日(日)午後1時30分～4時
内容：「小さな朗読の会」
ゲスト：鶴見区視覚障害者朗読ボランティアグループ
「ひかり」のみなさま
場所：鶴見区民センター3階 [大阪市鶴見区横堤5
-3-15]
参加費：なし
問合せ先：鶴見区社協(ボランティア・ビューロー)
TEL06-6913-7070

■ 「サロンいたみ」6月の出会い

日時：6月11日(土)午後2時～
内容：みんなと一緒に「シャルビダンス」
場所：伸幸苑伊丹市寺本6丁目150]
問合せ先：安藤れい子TEL072-784-1718

<サロン・あべの>Vol.299 発行：平成23年(2011年)5月21日 定価¥100
編集人：<サロン・あべの>運営委員会 表題：中西利香・筆
事務局：〒545-0021大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>
TEL・FAX06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの00950-9-26941
印刷：セルフ社〒546-0044東住吉区北田辺町4-23-2ミスターDビル2F06-6719-8212
ホームページ：http://pweb.sophis.ac.jp/oka/salon/「サロン・あべの」でも検索できます